

流域モニタリング一斉調査について

水循環再生に向けた取組による水環境の状況変化把握などのため、県民・事業者・民間団体・行政が協力して、川などの総合的な健康状態を水循環の視点で判断するために作成した指標「あいちの水循環再生指標」を活用して、「流域モニタリング一斉調査」を経年的に実施する。

※あいちの水循環再生指標:「水質」のほか、「水量」、「生態系」、「水辺の親しみやすさ」などの項目で構成され、川や海などの健康状態を水循環の視点で総合的に判断するための指標

1 調査期間

環境の日（6月5日）の前後一週間（期間内に調査ができない場合は時期をずらして調査することも可能）

2 調査実施者

- ・ 県民、事業者、民間団体、行政
- ・ 県民の参加については、市町村広報等による公募を原則とする。

3 調査方法

- ・ 「モニタリングハンドブック（試行版）」（水辺を手軽に調査するために作成したあいちの水循環再生指標調査マニュアルをコンパクトにしたもの）を用い、身近な水辺（河川、湖沼、海、水路、ため池など）の調査を行う。
- ・ 調査にあたっては、必要に応じ、市町村職員や県職員がボランティアグループをサポートする。
- ・ 市町村環境保全関係課は調査結果を収集し、最寄りの県民事務所環境保全課へ送付する。
- ・ 結果のとりまとめは行動計画フォローアップチームで行い、全県分を併せて水地盤環境課がHP等で発信する。

4 その他

平成20年度に引き続き、平成21年度もボランティアグループをサポートできるよう、行政職員を対象に指導者養成研修会を実施する予定。